

☆ この情報は感染症法に基づく感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所、さいたま市健康科学研究センター、川越市保健所、越谷市保健所及び川口市保健所の病原体検査情報をまとめたものです。

## 今月のコメント

急性呼吸器サーベイランスでは152検体が採取され、インフルエンザAH1pdm09亜型が89件（58.6%）と最も多く検出されました。11月（検体数：156検体、検出数：44件（28.2%））に比べ、2倍に増加しました。

## 細菌検出状況

三類感染症 令和6年12月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(12月分)
		10月	11月	12月	
腸管出血性大腸菌感染症	腸管出血性大腸菌O157	13	14	2	H7(VT1&2):1、H-(VT1&2):1
	腸管出血性大腸菌O111	2			
	腸管出血性大腸菌その他	7	3	5	O115:H10(VT1):4、O103:H-(VT2):1

四類感染症 令和6年12月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(12月分)
		10月	11月	12月	
つつが虫病	<i>Orientia tsutsugamushi</i> (PCR陽性)			1	
レジオネラ症	<i>Legionella pneumophila</i> SG1	2	3	1	
	<i>Legionella</i> spp. (LAMP陽性)	1	1		

五類感染症(全数把握) 令和6年12月31日現在

臨床診断名	病原体名	採取月			備考(12月分)
		10月	11月	12月	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌(CRE)感染症	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	2		
	<i>Klebsiella pneumoniae</i>		2		
	<i>Enterobacter cloacae</i> complex	7	2		
	<i>Escherichia coli</i>	1		1	
	<i>Serratia marcescens</i>		1	1	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	A群レンサ球菌( <i>Streptococcus pyogenes</i> )	1	3	1	
	B群レンサ球菌( <i>Streptococcus agalactiae</i> )	2	1	1	
	G群レンサ球菌	2	1		

## ウイルス検出状況

## 全数把握対象疾患

四類感染症 令和7年1月8日 現在(累計: 令和6年1月~)

臨床診断名	ウイルス	採取月			
		10月	11月	12月	累計
E型肝炎	検体数	1	3	1	47
	E型肝炎		2	1	25
A型肝炎	検体数		1		3
	A型肝炎				
エムボックス	検体数				1
	エムボックス				
重症熱性血小板減少症候群	検体数	1			1
	SFTS				
デング熱	検体数		1		17
	デング				9

